オリンパス VANTA アプノ 集



〒211-0063 神奈川県川崎市中原区小杉町 1-403 武蔵小杉タワープレイス5階

TEL: 044-738-0622 FAX: 044-738-0623

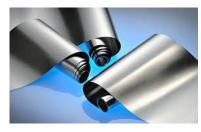
https://ureruzo.com SATO 测定器 .COM: https://satosokuteiki.com/

自動車部品PMI

業種 / 部署	自動車メーカー・サプライヤー/ 品質保証、品質管理、生産技術
サンプル情報	エンジン、ボディー、ターボチャージャー、金属部品、金型など
目的、用途	ミルシート(材料証明書)と合致しているかを確認する 他の用途で、競合他社の自動車を分解せずに使用している各部品の材料の 分析の用途もあり
メリット、効果	大型サンプルでも非破壊でスピーディーに測定可能
推奨モデル / メソッド	VANTA Alloyメソッド









ミルシート (材料証明書)

?





製品出荷前の成分確認

業種 / 部署	製鋼メーカー /品質保証部
サンプル情報	ステンレス、特殊鋼条鋼など
目的、用途	素材や加工後の部品の出荷前の成分検査
メリット、効果	非破壊で測定が可能 抜き取りでなく、全数検査も可能 その場で材料間違いの確認が可能、品質問題も事前に防げる 加工委託工場でも活用ができる
推奨モデル / メソッド	Alloy Plus





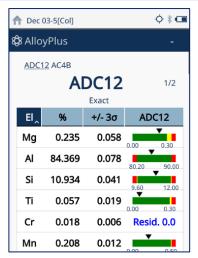


アルミダイカストの材料確認

業種 / 部署	自動車部品製造メーカー / 製造部、品質保証部
サンプル情報	アルミダイカスト: ADC12等
目的、用途	規格外の材料使用による品質問題、事故等を防ぐため 鋳造製造工程における溶湯の成分元素の管理を行う
メリット、効果	従来の発光分光装置だけでは分析に非常に時間がかかる VANTAと併用することで短時間で確認ができる
推奨モデル / メソッド	VMR / AlloyPlus







Mg,Si,Al等の軽元素も 発光分光装置と遜色ない検出結果

アルミニウム合金における検出限界 (分析可能元素の一部を抜粋)※			
Mg	780ppm	Cu	10ppm
Si	65ppm	Zn	8ppm
Ni	9ppm	Pb	5ppm

Mシリーズ、60sec測定

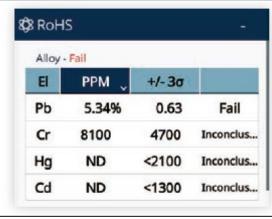
その他(RoHS、めっき厚測定)

業種 / 部署	自動車メーカー、自動車部品メーカー / 開発/技術、品質保証、品質管理、製造
サンプル情報	ハーネス、内装樹脂、クラッチなど
目的、用途	RoHS規制物質のスクリーニング 各種部品のめっき厚測定
メリット、効果	大きな部品も非破壊でそのまま測定 従来の据置・卓上装置に比べ検査時間が短縮できる 全数検査も可能
推奨モデル / メソッド	VCA / RoHS、Coating (Alloy) VCW / RoHS VCR / Coating (Alloy)

RoHS

規制物質のスクリーニング

[RoHS 規制元素] Cd / Cr / Hg / Pb / Br → Pass / Fail 判定が可能



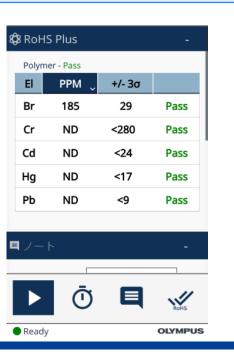


樹脂中のCl,Br

業種 / 部署	リサイクル
サンプル情報	廃プラスチック
目的、用途	塩素(CI)や臭素(Br)などを含むプラスチックを加熱すると 有害な有機ハロゲン化合物が発生する(焼却炉の温度にもよる)。 その為リサイクル時に含有量を調べる。
メリット、効果	非破壊でその場で測定可能
推奨モデル / メソッド	VCA / RoHS







食品内の異物検査

業種 / 部署	食品メーカー / 品質保証、お客様相談センター
サンプル情報	お菓子等に混入した異物
目的、用途	異物の混入ルートを製造工程から追跡する
メリット、効果	混入した異物の成分分析だけでなく、製造装置の各部位を測定することが可能 異物の混入ルートを推測し、対策が可能 製品品質向上が望める
推奨モデル / メソッド	Alloy Plus, Geochem



食品製造機器は強度 やサニタリー性を重 視し、ステンレスを 中心とした金属が多 用されている。 ステンレスは、ネジ の脱落やパーツの破 損など、機器のメン テナンスや管理の不 足により混入が発生 しやすい。

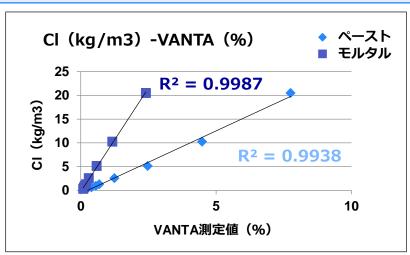


コンクリート構造物の塩害調査

業種 / 部署	道路、鉄道、構造物メンテナンス会社 / 保全計画課
サンプル情報	コンクリート構造物
目的、用途	塩害調査(コンクリート中のCI濃度測定)
メリット、効果	従来はコア抜きorドリル粉を持ち帰り、ラボや外部委託での電位差滴定法等で分析(測定約40分/サンプル) サンプル採取現場での測定が可能 コンクリート表層のCI濃度から内部の鉄骨位置の濃度を推測も評価中 従来の測定結果との相関性もよく、サンプル調整含めた測定において、時間、 コストの改善が望める
推奨モデル / メソッド	VCA(Agターゲット) / Soil







電位差滴定法との相関性

測定時間:60sec

セメント

業種 / 部署	セメント製造・コンサルタント 生産技術部/製造部 団体:セメント協会
サンプル情報	粉体、ガラスビード
目的、用途	成分分析、出荷検査 Mg,Al,Si,Ca,Feの酸化物(酸化物表記は必須)
メリット、効果	検査スピードの向上
推奨モデル / メソッド	VMR/G3



JIS R 5204:2002 セメント蛍光X線分析方法

認証標準物質を用いて調整した2枚1組の検定ビードの定量値が併行許容差及び対標準物質許容差の規定を満たしたうえで、

試料の分析が可能